

國內より驅逐するに至れり若干の重砲捕獲

此間第一軍は九月一日午前十一時に於て黒英

九月一日夕黒木は黒英の南仕官屯を攻撃し

九月二日夜即ち猛烈に攻勢を取り再び仕官屯

陣地を獲得せり之が右翼を攻撃したるオロ

追撃軍既に殺せられたるに於てはクロバ

追撃せざるべからず然れども人馬の最後の

九月二日夜即ち猛烈に攻勢を取り再び仕官屯

明治三十三年十月十八日 将軍

○タイムスの日露戦争批評 (九十七)

攻城戦の進行

八月十日旅順口を發したる露國軍艦の始末は
今雖も明白なるに至れり突出の結果は即ち太
平洋艦隊より一隻の一等戦艦、三隻の巡洋
艦、五隻の駆逐艦若しくは水雷艇を奪ひ去
り少將ウクトムスキー公に僅に五隻の戦艦、
破損したるパヤン、巡洋艦パルラダを留むる
に至りたるものなり三隻の駆逐艦また港内に
歸着せり八月十八日に於ける砲艦オトソ
ニ一の喪失、八月廿三日に於ける戦艦セ
アストポールの戦力喪失、八月廿四日に於
ける又もや驅逐艦の沈没は更に露國の海軍力
を減損するに至れり凡て此等の露國の損害は
みな沈没水雷の加へたる處なり港口附近に
は沈没水雷周りに投入され居れるものなりと
す日本若し潜航艇を所有し居れりとの事なら
ば我等は近日の損失につきて其原因を之に歸
せんものと欲するものなり
旅順口にありて尙攻勢を有する少數の露國
軍艦その持海部隊と共に斯く其活動を繼續す
るは即ち日本砲門の港内を砲撃するも未だ充

分なるを得ざるの證なりと爲さるべからず
我等は前週中諸難民よりの例の報に接する
を得たり皆攻撃の若々として進歩し居れるを
告ぐ然れども我等は右軍艦の行動に關するも
の外絶えて確實なる報又は公報に接するも
どなし近日まで旅順口にありたる米國海軍の
從軍武官は佛國新聞記者に對して守備隊の狀
態に關する概して好望なる意見を傳へたりと
云ふ然れども今探る所に據れば從軍武官等
は皆老虎尾の離隔砲臺内に閉居され戦艦の狀
態につきては其示されたるもの頗る乏しく或
は殆ど之を見るを許されざりしものも如し殊
に彼等は八月十四日を以て同地を撤退せり即
ち勸降書のスラツセル將軍に達したる二日前
なり従つて近接攻撃の準備日本に依りて完成
されたる前なりとすべし其日以後西北正面に
於ける攻撃は鋭意を以て行はれたり一切の報
道は椅子山砲臺の日本手中にあるを稱するに
於て一致す然りとせば千八百九十四年の先例
は再び其儘に踏襲さるべし數名の避難民は得
ずらく黄金山、白玉山、老鏡山、露軍の尙ほ
確守せるは此三陣地あるのみ然れども此説
は攻撃の成功を誇張したるものなるに似たり
縱しや其主要砲臺砲臺の砲火に依りて一部
分沈黙せしめられたるも是れ即ち是れありと

するも本防禦線内にある砲臺の多數尙ほ露國
の手中にあるは之を疑はず其攻城戦中得た
るものなるを將た野戦中に於て得たるものた
るを問はず一地點の成功は前日に於てより
は今回の状態にありて之を擴充するも頗る
容易ならず近世武器の長射程は防禦軍をして
其接獲砲臺及び後方砲臺の各部よりして其喪
失したる陣地に砲火を注ぐを得せしむる
日にありては其奪ひたる陣地を保持するより
は之を奪ふを以て軍容容易なりとす防禦軍の
有効なる砲一切に對し其標的たる地點にあり
て之に砲撃を發射するは通常にして且つ高價
なる業たらざるべからず
然れども日本軍若干の進歩を爲したるものと
露國本防禦線内に於ける砲の一部分壓伏さ
れたるものと見ゆるが如し是れ其行動に於て
事情の必要とする至當の順序なり歩兵に依る
攻撃の加へらるゝは防禦軍の砲比較的無能た
るに至らしめられたる後ならざるべからず一
日とす守備隊は其勢を減じ攻圍軍は絶えず増
兵するスラツセルは我等に稱して曰く旅順口
は最後の砲臺に於ける最後の一人に至るま
で防衛するべしと最近報に依りて得たる露國
の感念は日本に於ける自信深き人々の之を諒
明したるが如くは攻撃は其急速の進歩を行ひ

居らふと云ふにあり

豫て述べたるが如く東郷提督は八月十日彼に抗したる六隻の露國戰艦中その五隻を以て大損害を負へりと思考せりセザアストボー

タイムスの日露戦争批評 (九十八)

露國の通商妨害

露國の通商妨害 露國の通商妨害は巡航の目的を以て海に發したるが如し東方への此艦隊の進航もし果して事實となるに至らば世界の各部は之に其鐵道の注意を傾けざるべきなり

の切望して止むる所なり我等は先づ英國の如何に處するものなるやを顧みざるべからず露國は思ふに我等の海軍を備終始の事件に何等の關係を有せず殊に露國に對して一層無關係なりしの實を認むるに誤らざるものなり

及び其艦船にしてドンと改名されたるもの、此二隻はソプロールター海峡の西方に其位置を取り地中海の西口を封鎖して英國汽船に停船を命ずるの業を始め一見英國船のみ其目的とするものなるに似たり八月十八日ウラルはツイーゴ(西班牙)に於て其石炭の積入を行ひたるもドンに至りては近き其所在の報せられたるものと他三隻の變遷獨逸郵船はラース

され且つ此用途買賣當時に於て既に賣渡人に知られ居たるものと證明さるる場合に於ても尙ほ正確なりとすべきや疑はざるべからず然れども此意見の言明されたるものは煩として掩ふべからざる事實なり日本は若し其希望あるに於ては自家また之に對應する手段を取りて可なりとす

沿ひ而る後印度洋を横貫してサンダ(ソアア、スマトラ間)海峡に至るにありをボートエリザベス及びイースト ロンドンの中合にスモールレンスクの巡航せるは即ち此航路を遮断せんとするに於て其位置の宜しきと占めたる者なり大西洋を前面なりとすれば即ちスモールレンスクは之が背面の任に當たれるものなり其進退は此等世界大行動の一般方針に頗る好く適合するものなりとす更に一二隻の露國巡洋艦を以て南米の東海岸に派し以てクープ